

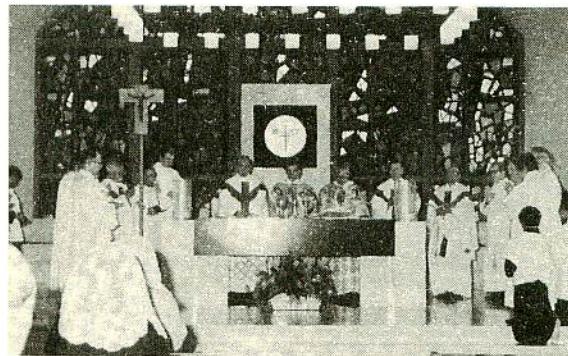
京都教区時報

特集 一 教区教勢・カトリック校の奉仕活動(2)
小教区の貢 — 北白川教会

第66号

発行所

京都市中京区河原町三条
カトリック京都司教区
広報室(Tel 211-3768)
編集責任者 村上透磨
編集部 教理センター
田中司教認可



河原町教会百周年

去る二月三日(日)午後二時、河原町教会では、発足百周年を記念して感謝のミサが挙げられた。

ミサは田中司教の主司式で、古屋司教および各地からの十六名の司祭が共同司式し、教区内の各教会、修道院、施設の代表、河原町教会の出身者が招かれ、同教会の信徒役員、有志を含め約三百名が参列した。

ミサ中の説教で、田中司教は京都教区のいわば母教会としての同教会の意義を語り、これを見て育て支えてきた宣教師、司祭、伝導師、信徒の労苦に感謝するとともに、さらに未来に向つて力づよく歩み出そうとよびかけた。なおミサ中の聖歌には、百周年記念の一環として作曲されたオラトリオ「日本の殉教者」の一部も披露された。

このミサを含め、この日の各ミサに出席し

た人びとに、この日のために作成された記念の絵葉書が贈られた。主日のミサ出席者が六七百名をこえる同教会では、全信徒を一つのミサに集めると、外部からの招待者(約二百名)がはいれない(聖堂定員四百名)ので、この措置がとられたのである。

ミサ後、教会地下で記念バーティーが行われた。神野信徒会長、田中司教、現主任司祭東門神父の挨拶ののち、司祭、司教として四十年余りもこの教会とともに過した前教区長、古屋司教のユーモア溢れる思い出話をはじめ、一九七七年まで、三十年近く主任司祭をつとめた丸山神父、その他の神父たちの話が零細気をもりあげた。

この百年間に、当教会で受洗した人の数は八千人をこえ、戦後丈でも四千人に余る。会場ではそこここに久瀬を叙する声も聞かれた。

さらに会場には、キリスト時代後、初の宣教師として来洛したヴィリヨン神父(一八七九年)に先立つこと五年、京都宣教の再開を祈つてフランスから送られ、ひそかに全市を見下す将軍塚に埋められていた「都の聖母」像、ヴィリヨン神父によって入洛后再発掘され、長く旧聖堂(一八九〇—一九六七)に安置されていた約四十四センチの美しいブロンズ像も披露され、参会者の感動を呼んだ。

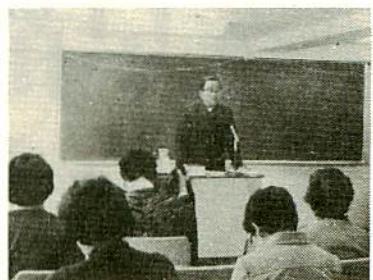
なお、発足百周年は、ヴィリヨン神父による最初の洗礼、一八八〇年二月五日を起点としている。当時の同神父は公的には宗教活動を禁止されていた。高倉二条の民家でと、神父の自筆が洗礼台帳に残っている。

教区短信



- ▽四月八日(火) 司祭評議会當任委員会
- ▽四月十三日(日) オラトリオ「高山右近」及びキリスト展(権原市)
- ▽四月十八日(木) 教区修道会管区長会議
- ▽四月二十一日(日) 邦人教区司祭例会
- ▽四月二十七日(日) 高山右近・細川ガラシヤのオラトリオ(河原町)
- ▽四月二十九日(火) 三重県信徒協議会総会(四日市)
- ▽五月一日(水) セント・ヨゼフ女子学園新館落成式
- ▽五月二日(木)~五日(日) 京都教区信徒会成基礎コース(メリノール・ハウス)
- ▽五月五日(日) 右近子供祭(大和榛原)
- ▽五月十二日(日) 教区司祭評議会

ヴィジョン作りへのワンステップ —公会議文書勉強会—



“教区ヴィジョン作りへの動き”のシリーズも昨年4月60号から5回。今年に入つてその“動き”も具体化され、いよいよ第一段階に入った。1月13日、長江司教講演を皮切りに3ヶ月に亘った「第二バチカン公会議文書勉強会」は11回を重ねた。講師として田中司教はじめ教区司祭総出。参加者数も15小教区7修道会、教会外聴講者数名を含めて延800名(毎回平均40名)に上った。

毎回その都度渡された資料コピー一片手にノートをとり、或いはテープレコードを膝に学習する人達の眼は真剣そのもの。京都市内小教区は申すに及ばず、精華、園部、唐崎教会からもレギュラーが出る程の熱心さ。講師側もこうした参加者の期待に応えて、きめのこまかい話しおりに油がのりすぎ持ち時間いっぱい質疑応答中に幕切れといったことも続出。勉強への不慣れな点は、講師、参加者との両側に見えはしたもの、両側共腰を据えて取り組もうとする姿勢がうかがえた。そうした結果として発せられた聴講

者の質問の幾つかは、時として壇上で受けとめる側、参加者聞く側の双方に古傷をさわられて痛い思いをするといった場面もあった。教会についての教えの過去の主張と問題点、第二バチカン公会議の主張と問題点、はしていたものの、また公会議後十五年とはいえ、「公会議文書勉強会」に臨んだものが熱心であろうとすればするほど聖靈は私たちの足もとから大きな揺さぶりをかけてこられるよう見える。

これまでの勉強会を支えに、いよいよ始まる「教区のヴィジョンづくり」は司教ひとりのものでも、司祭だけに課せられたのでも、修道者、知患者のグループに任せられたものでもない。父なる神は、教区民の一人ひとりに「世界に於ける神ご自身のヴィジョン」を人々に伝えよといエズスに告げられたように、神ご自身の京都教区のヴィジョンを教区民一体となつて見つけるように問い合わせおられる。京都南部の公文書勉強会は3月25日で一応終り、近く青年層の間で同じよう勉強会が始まられようとしている。教区内各地での勉強会の企画、実施も上から奨め、指示を待つ形ではなくそれこそ「神の民」一人ひとりの聖靈への応えとして始まるなら、「勉強会」のあとに続く各自の小教区、グループでのより具体的なヴィジョンづくりの討議と吟味の段階で聖靈の積極的な助け、協力が得られるることは疑うべくもない。

京都教区ヴィジョンづくりの提案者、越知師のことばを借りれば「キリストを

大事に思っているあらゆる人達、一人人がその苦しさ、問いかけ、希望、愛の面もあつた。教会についての教えの過去はしていたものの、また公会議後十五年とはいえ、「公会議文書勉強会」に臨んだものが熱心であろうとすればするほど聖靈は私たちの足もとから大きな揺さぶりをかけてこられるよう見える。

これまでの勉強会を支えに、いよいよ始まる「教区のヴィジョンづくり」は司教ひとりのものでも、司祭だけに課せられたのでも、修道者、知患者のグループに任せられたものでもない。父なる神は、教区民の一人ひとりに「世界に於ける神ご自身のヴィジョン」を人々に伝えよといエズスに告げられたように、神ご自身の京都教区のヴィジョンを教区民一体となつて見つけるように問い合わせおられる。京都南部の公文書勉強会は3月25日で一応終り、近く青年層の間で同じよう勉強会が始まられようとしている。教区内各地での勉強会の企画、実施も上から奨め、指示を待つ形ではなくそれこそ「神の民」一人ひとりの聖靈への応えとして始まるなら、「勉強会」のあとに続く各自の小教区、グループでのより具体的なヴィジョンづくりの討議と吟味の段階で聖靈の積極的な助け、協力が得られるることは疑うべくもない。

京都教区の神学生の司祭志願者認定式が行われる。大塚喜直氏（河原町出身）、木村省一氏（衣笠出身）の二名である。

大事に思っているあらゆる人達、一人人がその苦しさ、問い合わせ、希望、愛の面もあつた。教会についての教えの過去はしていたものの、また公会議後十五年とはいえ、「公会議文書勉強会」に臨んだものが熱心であろうとすればするほど聖靈は私たちの足もとから大きな揺さぶりをかけてこられるよう見える。

これまでの勉強会を支えに、いよいよ始まる「教区のヴィジョンづくり」は司教ひとりのものでも、司祭だけに課せられたのでも、修道者、知患者のグループに任せられたものでもない。父なる神は、教区民の一人ひとりに「世界に於ける神ご自身のヴィジョン」を人々に伝えよといエズスに告げられたように、神ご自身の京都教区のヴィジョンを教区民一体となつて見つけるように問い合わせおられる。京都南部の公文書勉強会は3月25日で一応終り、近く青年層の間で同じよう勉強会が始まられようとしている。教区内各地での勉強会の企画、実施も上から奨め、指示を待つ形ではなくそれこそ「神の民」一人ひとりの聖靈への応えとして始まるなら、「勉強会」のあとに続く各自の小教区、グループでのより具体的なヴィジョンづくりの討議と吟味の段階で聖靈の積極的な助け、協力が得られるることは疑うべくもない。

京都教区の神学生の司祭志願者認定式が行われる。大塚喜直氏（河原町出身）、木村省一氏（衣笠出身）の二名である。

およそ防寒着、手袋とも馴染みのうすい故国を離れ、御所で迎えたはじめての日本の冬の寒さは、ベトナム難民28人の方々にとつてどんなにこたえたことか。

新たに最近子ども1人、大人5人を受入れたベトナム・ハウスは家族の再会の喜びに幾らかなやいでいる。

収容されている難民の殆んどがアメリカ移民を希望をしているだけに英会話の勉強は、世話役のカーティ神父、シスター・ダイアナの熱心な指導もあって、みんなで、毎日、不懈怠に勉強している。労働意欲もそれに劣らず、「自分たちの力で何か仕事を」という要望が戸毛地区の人達のあつせんで実り、一日四、五時間のビニールサンダルの内職に慣れない手つきながら真剣な表情で取組んでいる。別に女性4人は市内の製縫会社のミシン作業に出かけ、これらの収益はみんなで分け合い生活費の一部にあてたり、将来に備えて貯金などしている。子どもたちのうち2名は幼稚園に入れてもらつて、地元の子どもたちと並んで、毎日、元気よく園庭で遊んでいます。子どもたちのうち2名は幼稚園に入れてもらつて、地元の子どもたちと並んで、毎日、元気よく園庭で遊んでいます。

トナム・ハウスより御所会

人事移動

△アルマン・デモンティニー師

宮津教会主任

△リシャール・バレ師

網野、大宮、峰

△ホーン師 加悦、岩滝教会主任

山教会主任

△ジエームス師 帰国

△ギニー師 富雄教会司祭館工事中のため、七月末迄、登美ヶ丘教会に宿泊

司祭志願者認定式

4月3日(聖木曜日)の午前10時、河

原町カトリック教会聖香油のミサの中で

行われる。大塚喜直氏（河原町出身）、

木村省一氏（衣笠出身）の二名である。

総じて食事にも慣れ健康を取り戻したかに見えるこのグループも、内職の間にも暗い、悲しい繰返したたくない思い出が心を横切るのか、心からのコミュニケーションがまだ出来ないとはスタッフの悩み。

ひとり 一役

—信徒使徒職養成コース—

私たちキリスト信者は、キリストと結ばれて、キリストの救いのみわざに参加する召命を受けています。私たちが洗礼の恵みをいただいたのは、大司祭、預言者、王であるキリストと結ばれ、キリストとともに父なる神を礼拝し、賛美し、(祭司職) 喜びの福音を世界に告げ知らせ(預言職)、お互いに、また社会に仕える(王職)ためです。それもパウロがコリントへの手紙でのべているように、それぞれの人に与えられた賜物(才能、職務、役割など)によって、それぞれのやり方で祭司、預言、王の三職に参加するのです。

第二バチカン公会議は特に信徒の役割を強調し、信徒には固有の賜物があります。それを通して参加するように呼びかけています。しかし実際には、信徒固有の賜物、自分の賜物といわれても戸惑われる方も多いでしょう。そこで適当な養成が望されます。教会の中での信徒の役割、自分の役割を理解し、意識し、何をするべきか、何ができるのかを考え、実行するために必要な心がまえ、知識、技術などを習得するとき、もっと大きな喜びをもつて活動することができるでしょう。

信徒使徒職養成コースはこの必要な要のために計画されました。コースは左の様な、多様なコースが順次計画されています。いわば単位のように、それぞれ

の人の才能、興味、役割に応じて適当なコースに参加することによって、必要な養成が受けられます。ただし基礎コースは、どのコースに参加する人にも必要な基礎です(いわば必修課目です)。

コースの種類

☆基礎コース

☆み言葉と典礼コース I

☆み言葉と典礼コース II

☆祈りのコース

☆福音と社会コース

☆司牧訪問コース

☆リーダーシップトレーニングコース

今回、第一回基礎コースが開かれます。

信徒使徒職養成 第一回基礎コース

主催 京都教区

実施責任 京都カトリック教理センター

日時 5月2日(金)午後8時より

場所 唐崎メリノールハウス

定員 20名(締切り 4月15日)

費用 一六〇〇〇円(教区より半額
(補助の制度があります))

くわしい問い合わせは
京都カトリック教理センターへ

〒606 京都市左京区仁王門通新高倉東入
(075) 752-10057

(文責 松本三朗)

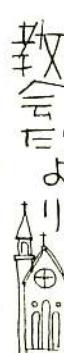
アジアの祈りについて

20余の教区内の修道会から集った90名

あまりのシスター達は2月24日①の10時からカトリック会館6階ホールで修道女連盟研修会を行つた。講師として、一昨年からインド、フィリピンの各地の視察を終え帰国された岡俊郎師(イエズス会)を囲んで、「アジアの祈りをのぞいて」と題する講話を伺つた。

研修会に先だって、田中司教は挨拶の中に、教区に足をおろしているもの、心を開いたものとして福音宣教に教区民と

た時ほど、主任司祭越知師のお説教が名調子になると聞いては、聖歌隊の責任も重大。でも、本当のところ、聖歌隊の歌の方が迷調子になつてしまふ事がしばしばです。



聖歌隊

一昨年9月頃より聖歌隊が活動を始め現在隊員も20人に増えました。男性部がやや少ないのが悩みの種です。

私たちのレパートリーは、典礼歌集中の混声四部合唱が殆んど。特に高田三郎氏の曲は得意のナンバー。ラテン語の聖体讃歌を歌う事もありますが、空中分解を起さぬよう全員必死の努力はそのまま私たちの祈りといつてもよいでしょう。

70才の女性までといった広がりよう。合唱の経験のあるメンバーの方が少なくて大方がこれに引張られて歌つているメンバーの年令層は、小6の男の子から有様、ミサ中の聖歌隊の歌が上手に歌え

共にみんなで参加(四旬節教書)してゆくために日本の、アジアの中の京都教区をより深く認識することの大切さを語られた。

岡師はアジア各地で撮られたスライドを交え、ヒンズー、仏、ラマ諸宗教についての体験を述べながら、究極的には修道者一人ひとりが日本のキリスト者として、聖霊による開眼をすることが大切であることを話された。また、こうしたアジアの諸宗教の中にあって主がどんなに偉大であるか、アジアの靈性の完成こそキリストご自身が成就されることを強調して師の講話を結ばれた。

さくしゃくしながらも、このような聖歌隊の活動が認められ、昨年9月に信徒会から思いもかけないカワイイチャーチルオルガンをプレゼントしていただきました。古くなつたエレクトーンを練習用にまわし、パイプオルガンと変りない音色の電子オルガンの設置に聖歌隊一同大感激! 大きな祝日を目指し、喜びに溢れた声をあわせながらの猛練習中といつところです。

聖歌隊の迷調子鑑賞はさておき、花の便りを京都に訪ねられることがありますから小山教会の電子オルガンの流れるごみせにもおいで下さい。

司教の足どり

一月～三月

1月	邦人司祭代表者会議 ひつじの苑専門委。ベトナム難 民を奈良御所に訪問
19 17 16	T弁護士と面談 ①福知山教会ミサ
20 21	教区付邦人司祭月例会 大本代表者と面談。教理センター 理事会
23 24	JMPC理事会合宿(不二聖心)
25	YBU訪問
26	園部聖家族高校卒業式 教理センターゼミ。南帰連
27	と面談
28	宮津曉星高校卒業式。同幼稚園関係者と面談
29	3月 舞鶴日星高校卒業式 ②河原町教会ミサ
30 31	社福(カリタス会)理事会 3回河原町教会100年祭。
2月 4	CBS代表と面談 平間師遺骨埋葬式。女子カルメル会訪問
29	3月 1 司祭評定例会。M.M管区長と面談 スーザン会管区長と面談
30 29	6回長岡幼稚園生司教座聖堂巡礼。 本正平協代表者と面談
31	9回桃山教会ミサ
2月 4	11回公会議文書勉強会講師担当
5	N.D小学校職員への講話。T弁護士と面談
6	教区幼稚園園長会。N.D小学校職員への講話。T弁護士と面談
7 8	司教協議会特別委(大阪) 聖母小ベルナデッタ100年祭。諸宗教代表者と面談
9	10回中舞鶴・東舞鶴堅信ミサ 大和郡山教会新共同体合宿
10 11	司祭評、常任委、代表者会 浅田美穂氏(浅田嚴父)見舞
12	諸宗教対話緊急会談、於明治神宮ローマ緊急電話
13	龟岡市役所訪問

お 知 ら せ

大和路に受洗した聖母への賛歌
「オラトリオ 高山右近」

作詞:水口登美子(YBU、心のとも

しひ執筆者)

作曲:柱本優(京都芸大作曲科卒)

合唱 奈良フロイデ合唱団・奈良県下

カトリック教会聖歌隊ほか

あなたの良き隣人として

カトリック御葬儀・貨物一式(仏式可)

聖ヨゼフ葬典社

パウロ 杉下 安雄

京都市右京区西院寿町23
電話(075)312-7829タイプ・活版 | 各種印刷
オフセット

今道印刷

〒602 京都市上京区天神筋一条下
ル下堅町152
電話(075)463-6024番

日時 4月13日(日)午後1時半開演
場所 奈良県橿原市小房町中央公民館
入場料 五百円(前売会員券有り)
主催 オラトリオ高山右近初演実行委員会
07442(2)3855

曲 柱本優作曲

オラトリオ「主のみ手に」

細川ガラシャ

「みれす、くりすち」

ユスト高山右近

○合唱 河原町カトリック教会聖歌隊他

日時 4月27日(日)午後3時

場所 河原町教会聖堂

入場料 千円(入場券は教会受付へ)

主催 河原町教会聖親会

本正平協代表者と面談

8月25日～29日

場所 ノートルダム女子大学

会費 8500円

宿泊費 3900円(食費含む)

※ 詳細は次号にお知らせ致します。

京都神学研修会

「3月25日のまとめ、古屋司教」は、同

勉強会参加者によるグループディスカッショント形式「まとめ」の集いとし、午前

の部は十時、夜の部は七時に変更させていただきましたことを紙上をもちまして、お詫び申し上げます。

広告についてのご案内

時報に広告掲載を希望される方は、編集部までご連絡ください。
 掲載は原則として、1ヶ月契約(年6回)とし、1回当たりの掲載料は1万円です。また半スペース5千円の広告も受け付けます。

京都以外の方もご利用ください。
 〒604 京都市中京区河原町三条
 カトリック会館5F
 京都教区時報編集部
 TEL 075(211)3768

特集



カトリック校の奉仕活動(2)

月末の天の橋立清掃奉仕(100名参加)、育友会員の提案で十一月秋季総会時の献金、浄財三万五千円をインドのアッサムへ、十二月の学校クリスマス献金十萬円をカンボジア難民救済のため現地に行かれた聖母訪問会シスターに委託、また学校クリスマスに向けてHRでの話しあいがもとになって集められた衣類・文房具など100余点を長崎県のベトナム難民キャンプへ送付した。

まだまだ不十分なので、貧しい小さな人々のために心の痛みを感じる事のできる共同体づくりに全力を尽くしたいと思う。

印象的だったのは送られてきた写真である。そこには、何とも爽やかな生徒たちの笑顔があつた。

暁星女子高等学校

全体で、またクラブ活動として熱心にすすめられている。

印象的だったのは送られてきた写真である。そこには、何とも爽やかな生徒たちの笑顔があつた。

前号に引き続き、カトリック校のボランティア活動を紹介する。各校とも学校

本校は京都から山陰線で約一時間、船井郡園部町にある。生徒の大部分は汽車やバス通学で時間に制限されて思うにまかせず奉仕活動と云つても微々たるものである。あえて記せば、学校行事として五月の聖母を賛える日に教会で御ミサに与り、その後四班に分れて清掃と慰問の活動を行なっている。初夏の陽光のもとに軽く汗ばみながら教会の広い庭や学校の裏山が段々と整備されていく。都会の子供たちがつた手なれた技で鎌や鋤が握られ、のびきった草を次々征服していくのも働く喜びの一つと受け取っている。

この日には「福祉の心」を育てる目的でHRの重要議題としてもとりくんでいる。今年度の実践例としては、各クラス・ホームへの奉仕活動にあてている。またホーメーの老人ホームボランティアや祉クラブの老人ホームボランティアや

聖家族女子高等学校

本校は京都から山陰線で約一時間、船井郡園部町にある。生徒の大部分は汽車やバス通学で時間に制限されて思うにまかせず奉仕活動と云つても微々たるものである。あえて記せば、学校行事として五月の聖母を賛える日に教会で御ミサに与り、その後四班に分れて清掃と慰問の活動を行なっている。初夏の陽光のもとに軽く汗ばみながら教会の広い庭や学校の裏山が段々と整備されていく。都会の子供たちがつた手なれた技で鎌や鋤が握られ、のびきった草を次々征服していくのも働く喜びの一つと受け取っている。

(一)文化祭……毎年十一月の文化祭に全校生徒より寄付金と、バザーの収益金を新聞社等に寄託したり、共同募金として協力する。

(二)クリスマス祝賀会……生徒会が主催して全校生徒に募金を呼びかけ、市内の



四日市聖母の家での除草清掃奉仕

(一)有志によるもの……(1)点詣奉仕 (2)力余興として出演)

(二)プラスバンド部(県の盲人大会等に参加)で宗教研究の機会を設け、この中に聖書研究、宗教音楽研究等のグループの一つとして、ボランティアがある。

このボランティアは、現在使用済の切手を回収して、キリスト教海外医療協力会に送る活動と、近くの整版園の心身障害者の夕食の介助を行なっている。それに夏と冬の二回、世界身体障害芸術家協会の繪葉書やハンガーチャを売つて、利益金を各施設に送っている。

また、オーケストラは、毎年四月にチャリティコンサートを行つて、利益金を施設へ寄贈している。

図書館では、図書委員が中心になって、生徒から不要になった書物を集め、熊本県の僻地校へ毎年送りつづけている。

そして、クリスマスにタブローを行う時、生徒会が、近くの整版園の肢体不自由や聖嬰会の養護施設の子供たちを招待し、また宗教部が、恵まれない人たちのために、保護者によびかけて、贈り物に協力を願つていている。

(文責 奥本裕昭)

ただいたり、車椅子で運んで差上げたりして老人と生徒お互に感激の交歓を繰りひ行ってはという希望もあり、目下近距離の生徒から日曜の午后などに奉仕試みている。物資援助は年末に衣類や家庭用品の中から抛出している。

向き、労力奉仕と演芸等による慰問) (2)プラスバンド部(県の盲人大会等に余興として出演)

(3)全般的に呼びかけるもの……(1)肢体不自由児協会に「絵はがき」を買って協力 (2)全国知恵遅れ援護会の「愛の鉛筆」を貢うことを全校生徒にすすめる。

セントヨゼフ女子学園



お年寄りとの楽しいひととき

学連あらかると?!

昨年度より、本校は三重県社会福祉協議会より、ボランティア活動実践校の一つに指定されている。しかしこのために特別の活動計画を立てているわけではなく、今までやつてきたことをふまえ、現在実行していることをより充実させようという姿勢でこれをうけとめている。

本校の奉仕活動は、クリスマス・ページェントと、その後に行われる施設訪問を中心とする全校的な動きを縦軸とし、種類の奉仕活動クラブの活動を横軸として、全体的にすすめられている。

ページェント後の施設訪問は、その時に集められた金品を贈るだけではなく、施設側の希望をたずねて行うので、施設のクリスマスマスターにて、本校生徒が協力出演という形になるところが多く、毎年それが楽しみにされている。

毎週水曜日の放課後は、宗教奉仕クラブの活動日にあてられており、ぶどうの会、YMG、点訳クラブ、愛と平和を考える会などが、その日を中心に活動しているが、老人ホームのバーや運動会、その他の施設での奉仕活動は休日を利用して、行われている。

最近よく学連って何をしているのですか、等々の質問を耳にするので、今日は学連の紹介をしたいと思います。特に年度の初めに当つて関西の大学へ入学された皆さんに学連活動に加わって頂くよう期待するものです。

現在の活動としては、セミナー活動というのが中心になっています。簡単に言えば読書会のようなものですが、それぞれテーマなり本なりを決めてチーフを中心とすれば、自由に議論を行なうもので、昨年度の例を引くと、聖書学・トマス「神学大全」キルケゴー「死に至る病」等から女性セミナー・人口問題に至るまで様々なテーマがあります。さらに昨今、イエスの福音理解から社会問題への関心を高め、部落問題韓国問題・男女差別他の問題に対しても、その理解への第一歩を踏み出しました。

これは社会的活動へと乗り出す前提として位置付けており、決して自己充足的には終わらせないつもりです。

さらに、全国カトリック学生セミナー

というものが毎年一回開催されており、その企画等に参画しています。ちなみに、今年は広島で平和問題等をテーマに七月下旬に開催される予定です。

以上が本当に簡単な活動紹介ですが、次に学連活動の意義を少し述べたいと思

Youth now?

います。おそらく、学生時代というのは自己を検証しうる最大の時だと思われます。そうした時に自己の根本的考え方即ち自己の生き方、信仰者だったたら信仰

一を検証し、発展させることは今後生き抜く上で絶対必要なことだと思います。

また学問に対しても、常にそうした自己の生き方から位置付ける作業は学問を続けて行く上で常に問題となり、絶えず取り組んで行かねばならない問題です。そ

ういった意味で、神なりキリストなりに

真にそれを読み進めながら自由に議論を行うものです。昨年度の例を引くと、聖書学・トマス「神学大全」キルケゴー「死に至る病」等から女性セミナー・人

口問題に至るまで様々なテーマがありました。さらに昨今、イエスの福音理解から社会問題への関心を高め、部落問題韓国問題・男女差別他の問題に対しても、その理解への第一歩を踏み出しました。

これは社会的活動へと乗り出す前提として位置付けており、決して自己充足的には終わらせないつもりです。

さらに、全国カトリック学生セミナー

というものが毎年一回開催されており、その企画等に参画しています。ちなみに、今年は広島で平和問題等をテーマに七月下旬に開催される予定です。

以上が本当に簡単な活動紹介ですが、次に学連活動の意義を少し述べたいと思



ヤングエマウス京都

エマウス運

動は一九四九年

当時、国会議員であつたア

ベ・ピエール

が始め、その

後「自分より

も困っている

人をまず助けよう」を基本思想に、国際的な広がりをみせてきた運動です。日本では、フランス人のロベール・バラード

収益金は、公けの場から援助金を交付されないことを第一条件に決定した援助先に渡しており、「乙訓手をつなぐ親の会」「青雲舎」を経て、今年度からは醍醐にある「フレンドリー・ハウス（重度障害者作業所）」に援助を始めています。

現在、メンバーが十二人程度しかいないのが悩みですが、メンバーのほとんどを大学生が占めていた以前とは異なり、中学生から社会人までの幅の広がりをみせています。誰でもが参加出来る運動として、今後发展していくためにも、多くの幅の広い層からの参加を望んでいます。

神父が昭和三十一年、神戸市生田川で家と仕事をしない人々と共に、屑拾いの仕事をしながら共同生活を始めたのが最初で、現在は暁光会とよばれる共同体をはじめとして、保育所や老人ホームを経営するに至っています。

ヤングエマウスは、こうした運動と共に鳴する若者によって、昭和四十九年に足し、毎年三月に行なう一ヶ月にわたる廃品回収のワークキャンプを開催と、各地での日常活動を続けています。

ヤングエマウス京都が、独自の日常活動を始めて約五年。二ヶ月に一度の割で根本的考え方を検証し発展させる契機を与えてくれると同時に一生涯取り組んで行ける問題とか人生の指針とかの核を掘り立てる場だと思います。关心をお持ちの方は4月26日と5月10日3時からオリエンテーションを開きますので、河原町カトリック会館502号室を覗いてみて下さい。

(委員長 平竹耕三)

現在は伏見区醍醐の約三百五十軒を対象に回収を行っています。

小教区に務める一司祭として「説法」などというおこがましいことを述べる程のものを持ちあわせておりませんので、日頃感じている想いのままを申し述べさせて頂きます。

若夫婦にいたがれで無心に眠る子供に洗礼を授ける喜び、その子供が成長して両親と共に御ミサに与かり、その莊厳さを次第に感じだして、おとなの人と一しょに祈るようになるのを見る喜び。やがて小学、中学、高校へと進むにつれ、今生徒達が毎日曜日の御ミサの典礼に司祭を助けているようにキリストのもとに力強く成長してくれるであろうという期待。

司祭としての喜びと悲しみ

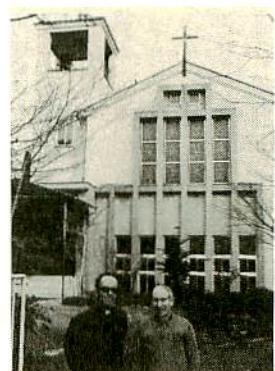
日々の営みの中で一つ一つ揚げられない程数多くあります。それに引きかえ、ふと悲しくなることもあります。それといふのは私を含めた人間の弱さ、もろさを感じるときです。キリスト者でありながら人の悪いわざをしたり、人を憎んだり、日々の生活の忙しさにかられて、祈りを怠つたりする人のあることです。その度に私はこう祈ります。イエズスよ、私達は確かにあなたを信じ、人を愛していますが、もつと強く信じ愛することができるよう、また福音を人に伝えようと努力はしていますが、もつともつと力強くその仕事ができるよう力づけてください」と。

ナドー神父

John M. Nadeau

小教区の貢

北白川教会



北白川教会は京都教区市内の教会として最もメンバーの少いこじんまりした家族的な教会です。小教区として認められ、少しあつて今の縁にかこまれた赤瓦の御聖堂が献堂されてから、近く三十年を迎えることになります。本時報芽生え(也)に古屋司教様が御紹介下さいましたように、教育をモットーとしている聖ヴィアトル修道会が京都で学校教育を始めるためにその本部として修道会を置かれたところが、今の北白川西篠町の場所で、さる御公家さんの御屋敷であつたと伺っています。男子中学校の設立計画が軌道にのり、また修道会ではブラザーがランゲージスクールを開かれたので、学生の多いこの地区では修道会との交流も多く、盛んになって来て、大学の先生がたも修道会で語学勉強をされたようです。

そんな次第で教理教室にも多く集まり、

修道院内の御聖堂は手狭になつて、中庭に修道院の拡張と合わせた御聖堂が新築

されました。その頃はいよいよ白梅町のヴィアトル修道会の開校の目処も立ち学校名が公募され、現在の「洛星」の校名が決められたと記憶しています。このようにヴィアトル修道会の本来の目的はその緒につき、一般の人が修道会の御ミサにあづかる数も多くおのずと小教区としての認定の希望が生れるわけであります。この信者達の願いを当時の修院長のカリエール神父様が快く受け入れて下さり、その労をとつていただけたので今的小教区が生まれたわけであります。そこで修道院の敷地の竹藪をきり開き、今の赤瓦階上御聖堂、階下ホール事務所の教会がたてられて、初代の主任司祭は今の洛星中・高校の校長をなさっています村田神父様があたられ、教区活動の基礎をきずかされました。この御聖堂が出来るまでの間、秋の聖ヴィアトルの祝日など多めに集まるので御庭で野外ミサがたてられ、司教様が来られてそのミサで堅信の跡がさづけられたこともありました。

こうして今日に至つているわけですが、はじめて書きましたようにそろそろ三十年を迎え教会史をまとめおく時期に来ておりますので、今回は以上のようない立ちと近況を知らせることにいたします。

その後ヴィアトル修道会の事業は順調にはこび高校も開かれるようになり、田村神父様は洛星の方へ移られ、何代かにわたりのメンバーで、いつも主日祝日には立派にミサをつとめていることで、これには本当に将来の頼もし感があります。これには本当に将来の頼もし感じるもので、あたたかく育てて行きたいものと考えており、皆様のお祈りを御願いします。

ナドー神父様は洛星の方へ移られ、何代かにわたりのメンバーで、いつも主日祝日には立派にミサをつとめていることで、これには本当に将来の頼もし感じるもので、あたたかく育てて行きたいものと考えており、皆様のお祈りを御願いします。

構成メンバーの少いなかにあって婦人はその緒につき、一般の人が修道会の御ミサにあづかる数も多くおのずと小教区としての認定の希望が生れるわけであります。この信者達の願いを当時の修院長のカリエール神父様が快く受け入れて下さいました。この労をとつていただけたので今的小教区が生まれたわけであります。そこで修道院の敷地の竹藪をきり開き、今の赤瓦階上御聖堂、階下ホール事務所の教会がたてられて、初代の主任司祭は今の洛星中・高校の校長をなさっています村田神父様があたられ、教区活動の基礎をきずかされました。この御聖堂が出来るまでの間、秋の聖ヴィアトルの祝日など多めに集まるので御庭で野外ミサがたてられ、司教様が来られてそのミサで堅信の跡がさづけられたこともありました。

こうして今日に至つているわけですが、はじめて書きましたようにそろそろ三十年を迎え教会史をまとめおく時期に来ておりますので、今回は以上のようない立ちと近況を知らせることにいたします。

その後ヴィアトル修道会の事業は順調にはこび高校も開かれるようになり、田村神父様は洛星の方へ移られ、何代かにわたりのメンバーで、いつも主日祝日には立派にミサをつとめていることで、これには本当に将来の頼もし感じるもので、あたたかく育てて行きたいものと考えており、皆様のお祈りを御願いします。

トマスコ隆上



八十翁自想唄

我哲人と 口にせど
よわくば全じ 凡人ぞ
心引きたて つとむれど
人の皮着た 此の身なら
神を信する 是の身なら
如何に落つべき 自己識る
人の歩の 意の儘に
ならぬと悟 ひらくれど
おのれ心で 悩むなる

おのれたよは 他人ならず
自己心と 識り乍ら
鳴呼 人の皮
無情なる
神に 繩りて
今日の日を 帰る
ボウロ白翁

ボウロ白翁さんの原文

人皮着此の身なら
神と接する
人の歩の意の儘に
あらゆれど
憤りもよ

二十六の十字架」を読んで

聖母学院小4年 田中 彩

春らしくなってきた。長期休暇の眼りからさせて……とは言つても、もともとトンネル業が本職だ。人間様のように浮かれてばかりもいられない。なにせ、生活がかかっているからな。

そういう事であつた。わしは、その夫婦に同情の念を禁じ得なかつたが、こう言う場合、どう考えればいいんだろうなあ。

昔、どこかの教会で、たしかスペイン人の神父様だつたが、説教の中でこんな事を言われた。「御自分の子供達のこと

この本を読んだとき、私は幸せだと思つた。それは、私は信者だけれどこんなふうに十字架にかけられないからです。それに私は、半泣きになつてしまいました。読んでいると、フランシスコ吉といふ生きている限り、罪を犯さずに済ます事はあり得ない。わしも一時期、トンネル業なぞやめて、死ぬ方がよいと考えた事もある。もくらの自殺なぞ笑つてももらえないだろうが、生きていて犯す罪の量の合計と、死ぬことによる大罪と、どちらが重いかも一度は聞いてみたいと思うな。

「ゴッド ファザー」と言う映画では、たくさんの人々を殺したあとで、いくつかの小さな罪を、さも敬けんな顔で告白する場面がある。

耳をそがれてしまられて歩む千キロ 雪の道
小さい足あと 血がにじむ
ルドビコ様がにつこりとわらつてやりをうけた時
西坂丘の夕映にほりとちつた梅の花

なやみ さまざま

もぐらの寝言
事理解れど 八十路身の
独身暮しの もの憂さよ
全じ姿の 世に多し
おのれひひとりの 苦にあらじ
夫婦揃いて ありし日を
氣隨気儘に 過し来て
一人になりて 無情しる

春らしくなってきた。長期休暇の眼りからさせて……とは言つても、もともとトンネル業が本職だ。人間様のように浮かれてばかりもいられない。なにせ、生活がかかっているからな。

こないだ、仲間のもぐらが、こんな話をしてくれた。ある、新婚の奥さんが、未信者であつた御主人を信者にする事に成功した。

で、そこまではよかつたんだが、その御主人、教会活動のために殆んどの時間を費すことになつてしまつた。相談するための時間もとつてもらえなくなつた奥さんは、遂に、「教会」と聞いただけで、あからさまな嫌悪を見るようになった。

だが、こんな風に言うもぐらも居るな、宗教学は麻薬だ」と……。

を考えてごらんなさい。その時のあなたが、神様のおころです。なる程、この様に聞いて、わしは非常に心が軽くなつた。神様とは、ぐんと距離が縮まつたようを感じて平和だつた。だが、こんな風に言うもぐらも居るな、宗教学は麻薬だ」と……。

う人と、ペトロ・助四郎という人が殉教者にくわわりました。私は、この二十六人は、ぜんぜん死ぬのをこわがつていな、反対にイエズス様のように十字架の上で死ぬのをよろこんでいるだなんて、私も信者だけども、もしこの時代にうまれていて信者だとしても、この人たちのようにならぬをよろこんでいるだなんて、

私は死をおそれず十字架にかけられるのをよろこんだらうか、と思いました。最年少ルドビコ・茨木は、ある人に「私は仕える氣があればおまえを助けてやろう。」「信仰をすべてならよい。」と言われた。それは、私は信者だけれどこんなふうに十字架にかけられないからです。それに私は、半泣きになつてしまいまし

た。読んでいると、フランシスコ吉といふ生きている限り、罪を犯さずに済ます事はあり得ない。わしも一時期、トンネル業なぞやめて、死ぬ方がよいと考えた事もある。もくらの自殺なぞ笑つてももらえないだろうが、生きていて犯す罪の量

の合計と、死ぬことによる大罪と、どちらが重いかも一度は聞いてみたいと思うな。

「ゴッド ファザー」と言う映画では、たくさんの人々を殺したあとで、いくつかの小さな罪を、さも敬けんな顔で告白する場面がある。

耳をそがれてしまられて歩む千キロ 雪の道
小さい足あと 血がにじむ
ルドビコ様がにつこりとわらつてやりをうけた時
西坂丘の夕映にほりとちつた梅の花

ためには、一切の欲望を断つ事だそうだ。でも、欲望も活力も持たない人間が发展を続けるだろうか。

(き)

これはごミサのときにつかう「聖書とてんれい」にのつっていたものです。

京都教区時報

諸宗教の対話

何故 対話するのか



京都司教 田中健一

——バチカン公会議前と後の、教会の諸宗教に対する態度の変化は、何故でしょ
うか。
それは第二バチカン公会議と深い関係
があると思います。歴史の中を旅する教
会として、かつてヨーロッパが全世界だ
と彼等には思われていた時代もあつたと
思います。しかし科学技術の進歩に伴い、
そうではないことがわかり、自分自身(教
会)を自問自答してゆく時、同じキリスト
を信仰させて頂きながら対立分裂とい
う現状。更に全人類を見る時、キリスト
を通してでないけれど神仏への信仰に生
きている沢山の人々を眺めます。かつては
どの教団も同じだったかも知れません
が、カトリックも同様、他を邪教視し
て自分の教團を守つて来た過去があります
。その時の歴史の中では、それが当然
だつたかも知れません。しかし今、福音
の原点にもどつて反省する時、キリスト
者の一致推進、所謂エキユメニズムば
かりでなく、特にキリスト者の少いアジ
アなどにあつては、諸宗教の方がたに対

——諸宗教との対話をすすめることは、
カトリックの信仰と矛盾することにはな
らないのでしょうか。
いいえ決してそんなことはないと思
います。私達の神は、私達以外の人をも含
め、全ての人々を愛して下さつたのでは
なかつたでしようか。「教会に行つて、
よい話を聞き、よい子になつて天国に」
といった考え方もあるかも知れませ
んが、神がお待ちの救いの青写真は決し
てそのようなものではなく、例えば、ユ
ダヤ民族にしても、偉大な民族だから選
ばれたというより、一つのしるし、道具
として選ばれたと考えるべきでしょう。
人は誰しも、人生についていくばくか
の不安を持っています。人生は一体何
なのか、善とは、悪とは……。科学の進
歩には確かにめざましいものがあります
が、こうした人々の素朴な疑問に満足す
べき解答も与えていませんし、将来も与
え得ないでしょう。ある人々が哲学や、
あるいは自分たちなりの神仏に寄り繋る
形で、その答えを求めようとするのも無
理からぬことだつたと言えます。

殊にアジアの国々は、どの国も長い歴
史を持ち、各々の文化、伝統が脈打つて
います。長い伝統、歴史に裏打ちされた
人々もあることも否定すべきではないと
思います。

——それぞれの宗教の中に良いところが
あり、ある意味で神性をも認めるという
考えは、宗教的相対主義(どの宗教でも
良いという考え方)にならないでしょ
うか。
その様にならないでしょ。確かに「
救い」というのものは、キリスト者であろ
うとなかろうと、キリストを通して与え
られるにに疑いの余地はありません。
しかし、菩薩業に励んでいる人達の情
熱や、素朴さに触れることで私達の目が
覺まされたり、教えられることも多いの
ではないでしょうか。神はキリスト教ば
かりでなく、他の宗教も人類の歴史の中
に誕生させ、靈性を通してそうした中に
も、教えをまいておられ、神の國に近い
人々もあることも否定すべきではないと
思います。

——本紙を福音宣教に役立たせるため、
ご近所、お友だちにもお見せ下さい。
(ア)

伊吹の籠まで走つていけ
陽と戯れてきらきら光り

◆ここは荒野か監獄か、はた又別荘隠居。白衣の美女に囲まれて、監獄だとは之如何! もゆるし下され皆々様よ。四旬節と云うのにすつかり休ませていただきました。急げ者にならぬ様目覚めて祈り協力していく姿勢が不可欠です。

「対話」はその出発点であり、とても効果的な手段であるのです。でも、自分の信仰について深い確信の恵みを頼り解すること、共通のものを求め合いながら協力していく姿勢が不可欠です。

——「対話」はその出発点であり、とても効果的な手段でもあります。でも、自分の信仰について深い確信の恵みを頼り解することが大切だと思います。今まで気付かなかつた他宗のすばらしいものを教わり、又、自宗のもつとすばらしいものを発見させて頂きます。

——それぞれの宗教の中に良いところがあり、ある意味で神性をも認めるという考え方には、宗教的相対主義(どの宗教でも良いという考え方)にならないでしょ
うか。

——本紙が対話の手段なら、読む者も、投稿者も、編集者も、「互いに心を開けあ

るよう、キリスト教がその国、その地域に根付くためには、国民性や文化を理解すること、共通のものを求め合いながら協力していく姿勢が不可欠です。

——「対話」はその出発点であり、とても効果的な手段でもあります。でも、自分の信仰について深い確信の恵みを頼り解することが大切だと思います。今まで気付かなかつた他宗のすばらしいものを教わり、又、自宗のもつとすばらしいものを発見させて頂きます。

——それぞれの宗教の中に良いところがあり、ある意味で神性をも認めるという考え方には、宗教的相対主義(どの宗教でも良いという考え方)にならないでしょ
うか。

——本紙が対話の手段なら、読む者も、投稿者も、編集者も、「互いに心を開けあ



時報が対話の手段なら、読む者も、投稿者も、編集者も、「互いに心を開けあ